

特別会計等質疑

95億8,712万3千円

予算特別委員会では、各委員から315の質疑がなされました。ここでは、主な質疑を掲載します。

総合政策課

問 ふるさと納税の利益について

答 ふるさと納税のうち返礼品が3割以内、募集のPRや手数料を含んでも5割以内という制度で、残りの5割が町の利益と考えることができます。

問 デジタル化の安全性について

答 安全性の確保は重要であり、職員に対しては個人情報に関する条例化と合わせ、研修を実施しています。職員の意識を向上させ、確実な個人情報保護を実施していきます。

総務課

問 庁舎改修事業について

答 屋根、壁の補修防水等の工事や天井の補修、大雨の時に窓枠から雨が入ってきてしまうため窓枠等の工事を予定しています。天井の雨漏りについては、防水シートと塗装防水で施工していく設計です。

問 まちづくり助成金について

答 地域の特色を生かした活力あるまちづくりを推進するための諸活動や事業を行う内容で、会議の開催に関する費用、集会所管理費、祭りスポーツ大会の開催、自主防災活動、交通安全防犯活動、クリーン美里等の町内清掃活動に要する費用や字で管理いただいている排水路等の活動助成金です。

税務課

問 新規事業キャッシュレス決済利用について

答 窓口で証明書を交付する際に、現状は現金での納付がほとんどであり納付方法の拡大と非接触化を図るため今回導入するもので、決済種別はクレジットカード、電子



マネー、そしてQRコードによる決済に対応しているものです。

住民保険課

問 マイナンバーカード保険証連携について

答 医療機関に保険証対応が義務化されます。令和4年度初めから対応が進んでおり、医療機関の半分以上が対応できるようになっています。

福祉課

問 まるっと相談内容について

答 主人と離婚したい、家族に病気の方がいて介護のこと、職場復帰のことなどです。中には一人暮らしなので話を聞いてもらいたいというような相談もあります。

問 タクシー利用料補助金活用について

答 現在1枚500円の額面を600円に増やし、1回の利用限度枚数も4枚2000円から5枚3000円に引き上げます。

反対討論

今回の令和5年度美里町一般会計予算では二点だけ賛成出来ない施策があります。

一つ目は役場庁舎改修工事です。今回の全面補修工事で1億円にも及ぶ工事費を掛ける予算で、あと15年使用する計画ですが、今後の猛暑等の厳しい自然環境と地震等の自然災害を鑑みると、とても15年持つとは思えません。現状で数年使用し埼玉版スーパーシティ構想と並行して新庁舎建て替えを考えるべきだと思います。

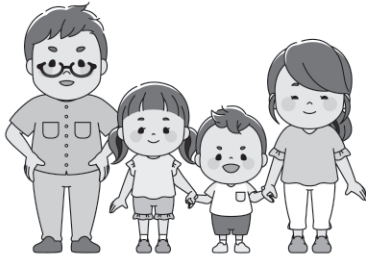
二つ目は子育て支援です。10万円の祝金は妊娠届出時に5万円、出生届出後に5万円と、前年度比で実質ミムリン出産祝金は減額に等しいと思います。国も他の地方自治体でもこぞって少子化対策に取り組んでおり、美里町でも他の行政に負けない結婚、妊娠、出産、育児の切れ目のない日本一の支援をして10年20年後を見据えた子供の笑顔が絶えない持続可能な町づくりを進めるべきであると申し上げます。



一般会計

予算総額

令和5年度



保健センター

問 子育て応援システム使用料AIについて

答 直径15cmのロボットで、子育てする保護者のスマートフォンと連携するもので、育児記録や指定した時刻に天気予報やお知らせする機能があり、相談もでき子育ての負担軽減を図るものです。



ボッコエモ BOCCO emo

問 生活習慣病予防対策業務委託料について

答 健康ポイント事業を主軸としたSーB事業が5年目の最終年度となります。令和3年度の検証結果は参加者と非参加者を比較した結果、一人当たり介護給付費では約13万円、医療費では約12万円の差が生じました。

農林商工課

問 住宅改修費補助金10万円から5万円の減額について

答 補助金については、1回活用すると次に使えない要件がありました。来年度からは限度額5万円に下がりますが、毎年1回は使える制度に改め、通常のリフォームに加え、災害等で修繕が必要な場合でも活用できるようにします。

建設課

問 小茂田池の埋立て期間は10年かかるのか

答 埋立て期間を10年と申し上げたのは、令和3年度の残土に基づいて試算した結果です。今後、残土が多く発生すれば埋立て期間も短くなると思います。

問 陳情や簡易舗装の要望が多くあるが、今後の整備のあり方について

答 かなりの部分は、住宅が接していない農道が多い。他に優先的に工事を行うところもあるので、優先順位をつけながら、必要なところを早期に実施していきたい。

上下水道課

問 浄化槽設置工事申請について

答 まずは町に相談して補助金交付の対象になるかを確認し、次に浄化槽設置工事の資格を持つ工事業者に相談し、工事金額が決まったら町へ補助金を申請します。申請は通常請負業者が行います。

教育委員会事務局

問 スマホ講座について

答 町民プラスワン大学の外に令和5年度より公民館講座として開設します。内容は初めてのスマホ教室、ライオン教室それぞれ3回実施します。

問 部活動の地域移行について

答 具体的な方向性は決まっていないのが現状で、美里町教職員へのアンケートを行い、実態を把握しているところです。負担を感じている教員もいれば、積極的に関わっていききたいという教員もいます。国県の動向を踏まえながら美里町も行っていきます。

賛成討論

一般会計の予算は、54億2,041万円で、対前年度比6.5%、3億2,906万円の増額となりました。

歳入では、公共施設等整備基金繰入金等の増により、繰入金が約1億2,800万円の増額、また、固定資産税や町民税等の増により、町税が約9,600万円の増額となりました。

一方で、スマートIC負担金等の減により、分担金及び負担金が約1,100万円の減額となったほか、地方譲与税が約500万円の減額となりました。

歳出については、庁舎改修事業等の増により、総務費が約1億7,700万円の増額、小茂田池の埋立てや道路補修工事等の増により、土木費が約1億3,600万円の増額となりました。

一方で、商工業振興事業等の減により、商工費が約2,100万円の減額、保健センター整備事業の完了等により、衛生費が約740万円の減額となりました。

以上、適切な予算配分がなされていると申し上げて、賛成の討論といたします。



国民健康保険事業

問 一般被保険者療養給付費負担金の増額について

答 令和4年度は特に入院が多くなっています。そのような医療費の推移をみて県が試算したものを按分して予算を計上しました。

問 疾病予防事業で力を入れていることは

答 埼玉県国保連合会との共同事業である生活習慣病予防事業に参加しています。これは、生活習慣の改善に取り組み、人工透析への移行を防ぐ事業です。1人でも糖尿病から人工透析に移行しないように事業を続けています。また人間ドック助成金について、令和3年度から助成額を増額して受診を促しています。他に高血圧、高血糖、脂質異常症改善対策事業も続けています。対象者となった方には訪問等により保健指導を行っています。

問 特定健康診査事業費について

答 集団健診は医師会等との話し合いにより、令和4

年度と同じ人数制限を設けて、1日80人で実施します。個別健診もあり、人間ドックの助成額も増額していますので、集団健診以外での受診をお願いしたいと思っています。



介護保険事業

問 見守り高齢者等探索システム委託料とは

答 ひとり歩き行動のある高齢者や、外出した際に自宅に帰ることができない知的障害者(障害児)を対象とし、GPSを利用した探索システムで、令和5年度は3人分を計上しています。なお、現在の利用者は1名です。

問 認知症カフェ補助金とは

答 軽い体操やおしゃべりなどを通して、認知症の方をみんなで支える地域づくり活動であり、ボランティアさんが複数名います。参加される当事者の認知症レベルは様々ですが、ご家族も一緒に参加し楽しみながら、地域における見守りを兼ねて行っています。

問 介護認定審査の基準は

答 介護の時間を時間に換算し、その時間数によって認定区分が決まるものです。自動車運転免許証を持ってい

ても、その方の必要な介護状況により、手間が換算されて要介護認定を受ける場合もあります。

問 高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定業務について

答 3年に一度改定し、今回は第9期計画を策定します。アンケートを実施し参考にさせていただきますが、今回の改正点や新たに盛り込む内容等については、まだ国より示されていない状況です。町の計画では、今まで「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる地域づくり」を掲げてきましたので、継承して策定する予定です。

水道事業

問 受水費について

答 県水を1日当たり2、600t受け入れるために予算を計上しました。受水割合は、美里町内から汲み上げている水量が59%、県水が41%です。

問 洪水浸水対策詳細設計業務委託料について

答 埼玉県が新たに定めた洪水浸水区域に第二浄水場が入ったことによる対策として、別地点に新たに配水池を建設し、第二浄水場の配水区域へ繋げる配水管布設工事のための設計業務委託料です。

